

大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 「地球惑星科学分野」の公表

はじめに

日本学術会議は、2014年9月30日に標記の参照基準地球惑星科学分野を公開した。その全文は下記の URL から取得できる。

<http://www.scj.go.jp/ja/info/index.html>

ここでは、参照基準地球惑星科学分野の内容を簡単に紹介し、参照基準策定の意義と各大学における今後の活用について説明し、大学教育に携わる皆様の注意を喚起したい。

参照基準とは何か

そもそも参照基準とは何であるのか。簡単に言えば、分野別の教育課程を編成する上での手引きで、専門教育の質を保証するもの、ということになる。学術会議による策定の指針では、それは次の性質を有するべきとされている。

- 単なるモデルカリキュラムや最低到達度のようなものではなく、その上に位置づけるべき各分野における学びの本質。
- 今までの教育の在り方への反省や今後の社会の姿も見据えた未来志向の教育像であり、学生が何を身に付けるべきかの指針。
- 教養教育を尊重し、各分野の意義に関する大学と社会との共通理解の形成を図るもの

各大学は、この参照基準を参考にして各大学のリソース（教員数や分野別構成、学生の質や進路など）に応じたカリキュラムを策定し、それによって教育を行い、専門教育の質を保証することが求められている。さらにその教育の成果は、卒業生の追跡調査等によりモニタリングを行い、必要に応じてカリキュラムを見直すことも求められている。

参照基準策定の経緯

文部科学省は、大学教育改革の一環として「学士力」の育成を掲げ、各大学に卒業生に対する「学士力」を保証するように求めてきた。「学士力」とは、大学卒業生が分野に関わらず普遍的に身に付けておくべき能力のことである。一方、「学士力」だけでは各分野の専門能力の育成の保証が得られない。そこで次に「分野別質保証」の考え方が浮上してきた。「分野別質保証」とは、各専門分野の卒業生が身に付けるべき素養と専門的能力を保証するという考え方である。

2008年日本学術会議は、文部科学省から「大学教育の分野別質保証の在り方に関する審議について」と題する依頼を受け、回答「大学教育の分野別質保証の在り方について」を取りまとめ、同年8月に文部科学省に手交した。

同回答においては、分野別質保証のための手法として、分野別の教育課程編成上の参

照基準を策定することを提案している。日本学術会議では回答の手交後、それぞれの専門分野に関して参照基準の策定を進めてきた。地球惑星科学委員会では、大学教育問題分科会がこの任にあたり、2011年より3年間をかけて策定作業を進めてきた。2013年6月には、学術会議主催の公開シンポジウム「学士課程教育における地球惑星科学分野の参照基準」（於東京大学地震研究所）を開催し、さらにここで議論された参照基準案を地球惑星科学連合のウェブサイトに掲載し、広くパブリックコメントを求めた。これに対し、日本地質学会はじめいくつかの学会から、また複数の個人研究者からコメントが寄せられ、それを可能な限り反映させた改訂版を策定し、学術会議第三部会の査読と改定、質保証委員会による審議と改定を経て、今般最終案が策定された。こうして同分野に関連する教育課程を開設している大学をはじめとして各方面で利用していただけるよう、公表に至ったものである。

参照基準の今後

各大学においては、上述の趣旨に基づきこの参照基準の積極的な活用をお願いしたい。第23期地球惑星科学委員会では、「人材育成分科会」において、この参照基準の活用を含めた教育問題が議論される予定である。

日本学術会議第22期地球惑星科学委員会
大学教育問題分科会委員長 西山忠男